

第2回飛騨位山トレイル参加誓約書

1. 大会コースが山岳の自然環境を利用して行われるため、主催者が定めたすべての規約、指示を順守し、環境保全に十分配慮して大会に参加することを誓います。
2. 本大会が厳しい山岳の自然環境下で開催されることよく理解し、個人の責任において安全管理、環境管理に十分注意のうえ大会に参加し、万が一体調などに異常が生じた場合はすみやかに競技を中止することを誓います。
3. 特に体調面において主催者に知っておいてもらいたいこと（アレルギー体質、過敏症などの特異体質や既往症など）があれば、大会前日までに大会本部へ連絡をします。
4. 大会中に私が負傷もしくは事故に遭遇、あるいは発病した場合、医師及び主催者が私に対し応急処置を施すことを承諾し、その応急処置の方法及び結果に対しても異議を唱えません。
5. 私は、競技中に負傷した場合、またはこれに基づいた後遺症が発生した場合、あるいは死亡した場合においても、その原因の如何を問わず、大会に関わる全ての大会関係者に対する責任の一切を免除します。また、私に対する補償は大会に掛けられた傷害保険の範囲内であることを確認承諾します。
従って、私自身、私の遺言執行人、管財人、相続人、近親者などのいずれから、私が被った一切の障害について賠償請求、訴訟の提起およびそれらの為の弁護士費用などの支払い請求を行わないことを誓います。
6. 私は、大会競技中、私個人の所有物に対して一切の責任を持つことを誓います。
7. 私は、私の肖像・氏名・年齢・競技歴などが、大会に関連する広報物全般及び報道・情報メディアにおいて使用されることを了承し、これらに付随して主催者が製作する印刷物・ビデオ・情報メディアなどによる商業的利用を承諾します。
8. 私は、選手登録並びに大会へ参加するために必要な提出書類の記載事項が事実かつ正確であることを誓います。
9. 年齢・性別等の虚偽申告及び申込み手続後の代理出走・権利譲渡はいたしません。

私は、自ら大会に参加するにあたり、上記のことを誓約します。（私が未成年の場合は、私の保護者が上記のことを誓約の上参加することに同意したことを証します。）

血液型 _____

ゼッケン番号 _____

緊急連絡先 電話 _____

氏名 _____

参加者氏名	自署または捺印	保護者	署名または捺印
	印		印

※未成年者は、保護者の承諾を示す署名捺印が必要です。

2017飛騨位山トレイル競技規則及び注意事項

《自然保護に関するルール》

- (1) コースは、位山舟山県立自然公園の第1種特別地域を通過します。自然環境の保護に十分配慮ください。
- (2) ストックの使用は全コースにおいて禁止します。
- (3) コースから外れることを禁止します。また、コース上及び全区域で動植物等を採取する事を禁止します。
- (4) コース周辺には湧水、川の水が流れていますが、飲んだ後体調を崩したとしても本大会は責任を負いかねます。
- (5) ごみは絶対に捨てないでください。

《装備品について》

必携品（装備として必ず携帯するもの）

- (1) エントリーの際に番号を届け出た携帯電話
※大会本部の電話番号（ナンバーカード配布時にお知らせします）を登録し、番号非通知にせず十分充電しておくこと。レース前、レース中に大会本部より携帯電話に緊急連絡をすることがあります。（電波が届きにくい場所もあります）
- (2) ロング参加選手は 500ml.以上の水（スタート時）
- (3) ごみ減量化のためマイカップ（※エイドステーションにコップは配置しません。）
- (4) 食料
- (5) 保険証
- (6) ファーストエイドキット（絆創膏、消毒液、痛み止めなど）
- (7) 配布されるナンバーカード、ICチップ
- (8) クマ鈴（レース時装着：クマ・カモシカ・イノシシの生息地を通過します）
- (9) その他各自で必要と思われる装備品
※山頂付近は天候が急変し、10度以下になることがあります。雨や低温気候に考慮し防寒・雨具を用意し健康管理に備えてください。
※ケガのリスクを大幅に軽減するトレランシューズ、手袋の着用を強く推奨します。

《注意事項》

- (1) 参加者は、各種目のスタート 15分前から選手の整列を行いますので、遅れないように集合してください。
- (2) ナンバーカード（ゼッケン）・計測チップ・参加賞は受付で交付します。
- (3) エントリー完了後の種目変更は認めません。
- (4) 申込後のキャンセルなど、いかなる理由があっても参加費の返金はいたしません。
- (5) 参加者は大会規約を遵守し、いかなる事故やアクシデントにおいても自己責任とする旨の誓約書を提出していただきます。誓約書を提出されない方は、出走できません。

《順位決定方法》

- (1) 本レースは、定められたコースの所要時間が短い選手から順位を決定します。

《救助及び医療援助について》

- (1) けが、病気などで身動きができない選手や大会関係者と遭遇した場合は、その救助を優先し、最寄りのスタッフもしくは大会本部へ連絡してください。大会本部の連絡先はナンバーカード引換時にお渡しします。
- (2) 競技が安全に行われるために、大会実行委員会では可能な限りのコース整備と救助及び医療援助体制を準備しています。しかし、選手はトレイルランという自然の中で行われる競技に危険が伴うことを十分に認識し、けが、病気、事故などに対して事故責任において大会に出場してください。
- (3) コース上にマーシャル・ランナー（移動観察人）を配置し、近距離であればけが人のもとに救護に向かい、応急処置を行います。
- (4) 医師と救護者にはこれ以上競技を続けられない選手に、競技を中止させる権利があります。その際にナンバーカード等も回収する場合があります。
- (5) 環境や状況により、救助が到着までに長くかかる場合があります。特に、山頂付近・稜線で救助が必要になった場合、搬送までに時間を要します。
- (6) 医師や救護者に処置を受けた選手は、レース後に必ず専門医を受診してください。
- (7) レースを中止した場合、フィニッシュ会場まで収容バス、またはサポート車を使って戻ることができます。実行委員会が用意した車両等以外を依頼するときは、自己負担とします。
- (8) 大会主催者は、選手の事故・傷病などに備えて、傷害保険に加入します。

《エイドステーションと私的サポートについて》

- (1) エイドステーションには、食材や飲料が用意されていますが、各自最低限必要と思われる水分や食料は必ずお持ちください。ロング出場者は、スタート時に水500ml以上の携行を義務付けます。
- (2) 選手の家族や友人による私的サポートは可能ですが、他の選手の迷惑にならないよう心がけてください。
- (3) 明らかに他の選手に迷惑をかけていると判断された場合、その場で競技を中止していただく場合があります。
- (4) コース 周辺の林道（刈安林道・ダナ平林道・ツメタ谷林道・餅谷林道）への一般車両の進入は禁止します。

《他者への配慮について》

- (1) コースは本大会のためにクローズされていません。一般利用者（登山者等）も使用していることを理解し、通行を妨げてはいけません。また、一般利用者を追い抜く場合は、事前に呼びかけをしてから速度を落とし、危険がないよう十分に注意してください。お互い譲り合い、あいさつも心がけてください。

《コース上の案内について》

- (1) 必要最低限のマーキングテープや表示看板、スタッフの配置を行います。
- (2) リスクを軽減するためにロープなどを設置するとともにスタッフも配置しますのでその指示に従ってください。
- (3) 交差点などでは安全のために選手を一旦停止させることがあります。スタッフの指示に従ってください。
- (4) マーキングテープ、案内看板は大会直前に設置され、大会終了後速やかにすべて撤去します。

《リタイヤ（棄権）について》

- (1) 途中棄権する場合は、その旨を必ずスタッフへ申告してください。また、ICチップを必ず大会本部へ返却してください。
- (2) 自力で動ける選手は、次の、または手前のエイドステーションまで移動してください。自力で移動できない場合は、スタッフまたは大会本部の指示を受けそれに従ってください。※収容に時間がかかる箇所もあります。体力に自信が持てないときには、ひとつ手前のエイドステーションでリタイヤの申告をしてください。収容車で会場へ戻ることができます。

《禁止事項》

- (1) 選手が以下のルールに違反した時、スタッフの注意に従わなかった場合は、失格の対象になるほか、その場でレースを中止させることがあります。
 1. コースをショートカットやみ出すこと。
 2. 必携品を装備しないこと。
 3. ゴミを捨てること。
 4. ストック、杖の使用、仮装、公序良俗に反する行為。
 5. 不正行為（乗り物の使用、代走、その他法律に抵触する行為）。
 6. ICチップの不携帯。
 7. 大会スタッフの医師、看護師、救助者の指示に従わないこと。
 8. 閉門時刻後にも関わらずレースを続けること。

《選手の責任》

- (1) この種のレースで起こりうる問題に対して、自ら処置できる能力を有し、自己責任であることを十分理解していること。
- (2) 山岳地で予測されるトラブルや天候の悪化など（低温、強風、雨、雪）に、他に頼ることなく自ら対処できること。
- (3) 疲労、内臓や消化器官の不具合、筋肉などの痛み、軽度のけがが引き起こす肉体的、精神的問題に対し、自ら対処できること。
- (4) 自然の中での活動において、安全に関わる問題に直面した場合、自らがそれぞれの能力によって対応しなければならないことを十分認識していること。

《主催者の責任》

- (1) コース上にマーキング及び案内看板を設置すること。
- (2) 注意者としての管理義務をもって選手の安全管理を行うこと。
- (3) 賠償責任及び選手全員の傷害保険に加入すること。(傷害や疾病、その他競技中の事故等については主催者で応急処置は行いますが、保険の範囲外の責任は一切負いません。主催者が加入する傷害保険については内科疾患などによる入院などについては、保険は適用されませんのでご了承ください。)
大会主催者の加入する選手の事故・傷病への補償をする傷害保険の範囲は以下となります。
 - 死亡・・・・・・・・・・ 300万円
 - 部位・症状別治療・・ 3,000円
- (4) その他、不可抗力、参加者の故意または重過失でないコース上の突発事故、トレイルの破損等に対して対応を行うこと。
- (5) 個人情報の保護法令を厳守し、参加者の個人情報を取扱います。
- (6) 天候その他の事由により、参加者の安全のためコース、時間を変更する場合があります。

《大会中止基準》

下記の事由により、大会の開催、継続が困難であると判断した場合は、主催者は大会の中止または大会途中の中断を決定します。大会開催日の順延はありません。その際は競技開始前、開始後に関わらず、参加費等の返金はいたしません。参加賞についてはお渡しします。

- (1) 気象警報発令時。
- (2) コース途中におけるがけ崩れ、落石などランナーの安全を確保できないと判断される場合。
- (3) 国道41号線等の幹線道路が雨量規制等で通行止めになった場合。
- (4) 大会中止の判断は大会当日または前日までに大会公式サイト及び専用にて発表します。
- (5) 地震、風水害、事件、事故、疫病などが発生した場合。

《撮影等について》

- (1) 大会で撮影した写真などの肖像権は主催者に帰属する旨を承知の上ご参加ください。
- (2) 大会出場中の映像・写真・記事・記録等の、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は主催者に属します。